

第二小中一貫教育通信

令和7年10月10日
江別第二小学校
江別第二中学校
～第2号～

日ごとに秋の気配を感じるようになりました。一貫教育も4年目を迎え、これまでの経験を生かし、一貫性・連続性のある教育活動を充実させて「目指す15歳の姿」の実現に向けて取り組んでいるところです。今後も、地域の子どもの成長を中心とした活動を進めていきたいと思っております。引き続き、江別第二小・中学校の活動にご理解とご協力をよろしくお願いいたします。本通信では、前回紹介した以降の小中一貫教育の取組を紹介させていただきます。

【第1回学校運営委員会（6月10日）】

学校と地域住民、保護者等が熟議と協働をして、地域の実態に応じた社会に開かれた学校づくりを進め、地域と共にある学校運営となるように設けられた制度が学校運営委員会です。令和7年度の第1回学校運営委員会では、それぞれの学校から「学校経営方針」「教育課程」「小中一貫教育」などについて説明がありました。学校・地域・家庭をつないでいけるよう、今後も熟議を重ねていきます。



【第二小学校2年生中学校探検（6月11日）】

江別第二小学校の2年生が中学校を訪問して、校舎内を探検したり、中学校の先生に質問したりして疑問を解決していました。中学生が授業している中で、行儀よく校舎をまわる姿がとても立派でした。



【◇小学校2年生の感想】

◇中学校探検楽しかったです。◇いろいろな勉強ができてすごかったです。算数の勉強がすごかった。◇中学校の先生が少しおもしろかった。◇私も優しい中学生になりたいと思いました。◇どんな問題もすぐわかる中学生になりたいと思いました。◇いっぱい勉強したり、覚えたりしようと思います。◇カッコいい中学生になれるようにがんばりたいです。

【第2回小学6年生中学校体験（7月16日）】

今年度2回目の中学校体験は、午前の時間帯で3時間の授業を行いました。小学校教諭による授業を1時間、中学校教諭による体育、音楽の交流授業を各1時間行いました。小学生は、中学校の授業や中学生との関わりを体験することで、中学校生活に期待と見通しをもち、安心感と前向きに努力する意欲を増していました。中学生は、めざす姿「思いやりの心をもち人と協働できる15歳」を体現した小学生を思いやる場面が多くみられ、小学生のお手本や目標となっていました。



【◇小学校6年生◆中学校3年生の感想】

◇中学校がもっと身近になった感じがありました。◇前よりも長い時間の体験だったけど、集中を切らすことなく無事に終わることができてよかったと思います。◇3年生の皆さんがとてもかっこよくて自分もこんな中学生になりたいと思いました。◇中学校登校を終えて緊張したところはあったけれど、3年生が笑顔で接してくれてとても嬉しかったです。みんな優しく楽しかったです。◇3年生と交流できて楽しかったです。校歌も一番まで覚えてくれて良かったです。◇素早く行動することが大事だと思った。わからなかったときは3年生の方が優しく教えてくれて嬉しかったです。◇中学生のみなさんに大縄とびをたくさん教わったり、歌の練習のときに優しく教えてもらったりして嬉しかったです。◇中学3年生の人は、体育の大縄跳びのときや音楽のときに積極的に話しかけたり、「こっちに来て」といってくれたりしてくれたので私もこんな中3になりたいと思った。◇みんな優しく失敗した時は励ましてくれたから楽しかったです。

◆みんなしっかりやっていて、初めてとしてはとてもうまかった。やっていて自分も楽しかったです。◆中学生はこれまでの積み上げがあるから上手だけど、6年生はみんながんばって跳んでいて中3にはない元気があって、みんなががんばるぞって盛り上がるよさを教えてもらった。◆みんなで協力してやれたのが良かったと思いました。小学生がかわいく感じました。元気いっぱい入学してくれて嬉しかったと思います。◆小学生はみんながんばっていた。中学校に入学したら、声とやる気さえあればなんでもできると思うので、どんなことにも挑戦してほしいと思います。



【Student Teacher (7月28日)】

小学校の夏季セミナーに中学生が先生として参加しました。小学生は、個別に対応してもらえること、中学生のお兄さんお姉さんに教えてもらえることを喜び、中学生は、しっかり教えなくてはという責任感と小学生が喜び姿を見て達成感を感じているようでした。小学生のときに教えてもらったので中学生になって参加したという生徒がいて、小中一貫教育の好循環を見ることができました。

【◇小学生◆中学生の感想】

◇今日は、中学生に漢字を教えてもらってわかるようになって楽しかったです。一人で勉強するより良かったので、またお願いしたいです。◇中学3年生が、ていねいにやさしく教えてくれたので、よかったです。◆小学生の皆さんに勉強を教えるのは少し大変で難しかったけれど、みなさんとコミュニケーションを取っていい経験になりました。◆小学生が、教えることがあまりないくらいできていたのですごいなあと思いました。教え方がわからないところは、中学生同士でコミュニケーションをとって教えることができました。◆まわりに聞いたりしながらも静かにやっていた。漢字を調べるときに検索バーを使っていた児童がいたので、漢字ドリル等でしっかり調べると良いと思った。



【部活動体験 (7月30日、31日、8月20日)】

夏季休業中の3日間で小学校6年生が部活動体験に参加しました。小学6年生の半数以上が参加する有意義な体験となりました。昨年までは、一人一つの部活動体験でしたが、学校運営委員会のご意見を受けて、今年度より複数の部活動を体験できるようになりました。全体の3割ほどが、複数の部活動体験を希望し、取組をより良い形に改善できた好事例となったと感じています。



【小中合同挨拶運動 (6月4日、7月10日、8月28日)】

前期の児童会・生徒会役員による合同挨拶運動が3回行われました。後期にも2回の挨拶運動が予定されており、昨年度より回数を増やしています。今後も挨拶が響き渡る学校を目指して活動していきます。

【◇児童会役員◆生徒会役員の感想】

◇中学生のみなさんのすてきなあいさつが勉強になったので、次のあいさつ運動では教えてもらったことを生かして、もっとすてきなあいさつができるようにしたいです。◆中学生も小学生の明るい笑顔の挨拶をお手本にしたいと思いました。小学生の皆さんは、これからもっと笑顔の挨拶を増やしていってけると嬉しいと思います。



【小中地域合同清掃 (9月22日)】

晴天の下、小学校・中学校・保護者・地域が一体となって清掃活動に取り組むことができました。活動後の集会では、小学生の代表が「身近な道をきれいにでき、中学生や地域の人々とも協力できてよかった」との感想を述べ、中学生の代表が、市民としての自覚と地域貢献の重要性を合同清掃に参加したみんなに訴えかけました。児童・生徒の代表の話から、地域清掃の価値を実感できたことがわかりました。



【二中祭合唱見学 (10月3日)】

小学6年生が、二中祭の3年生合唱コンクールを鑑賞しました。コンクール独特の緊張感と歌声の迫力を感じていました。小学6年生は、学芸発表会を来月に控え、自分たちの発表に向けてよい刺激をもらったようです。



小中一貫通信第3号は2月に発行予定です。